

機械器具 51 医療用嚢管及び体液誘導管
管理医療機器 腸管用チューブ JMDN：35415020

ザ ヘルス 腸カテーテル

再使用禁止

【禁忌・禁止】

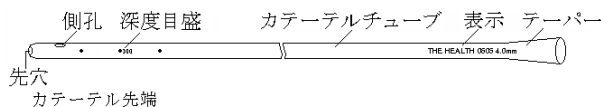
・再使用禁止

〈適用対象（患者）〉

- ・過去に「天然ゴム」によるアレルギー症状を経験している患者への使用は禁止。

【形状・構造及び原理等】

- ・本品は単管の腸管洗浄用のカテーテルである。
- ・先穴及び側孔1穴を有しており、天然ゴムを使用している。



【使用目的又は効果】

- ・本品は、逆行性（経肛門的）に下部消化管に挿入し、減圧、排液、洗浄及び薬液注入を行う為に使用する。

【使用方法等】

- ・滅菌前に水洗をすること。アスピレーター等を用いて内部に勢よく水道水を通すと、なお良い。
- ・完全に乾燥させる。
- ・本品は未滅菌品である。必ず高圧蒸気滅菌（121℃、15分間）または医療機関で使用されるエチレンオキシドガス滅菌装置により、EOG滅菌（450～1000mg/L濃度のエチレンオキシドガスを使用、滅菌2時間 70℃未満、加湿下、エアレーションは使用前まで24時間以上70℃未満）を行った上で使用すること。また、両方の滅菌方法とも、インジケーター等を用いて滅菌効果を確認しながら実施すること。

腸洗浄としての使用方法

1. カテーテルに滅菌（EOG滅菌法又は高圧蒸気滅菌法）を施す。
2. 腸内洗浄液の選択並びに1回投与量、時間及び回数など洗腸方法については、医師の指導に従うこと。
3. 洗浄液（約37℃）をイルリガートルに投入し、カテーテルまで充填し、クレンメで止める。
4. カテーテル先端部分から約15cmまでのカテーテルチューブ部分に潤滑剤を十分塗布した後、適切な長さを経肛門的に挿入する。クレンメをはずして腸内洗浄液を注入する。注入終了後はカテーテルをゆっくり抜き、便器に排出する。注入、洗浄及び排便を必要回数繰り返す。この時、術者は清潔手袋等を着用するとともに、施術近辺の環境に対しても排泄物からの2次感染に留意すること。

【使用上の注意】

1. 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）
 - ・天然ゴムは、かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがある。
 - ・このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談すること。

2. 重要な基本的注意

- ・刃物等鋭利な器具に触れると切断する恐れがあるので注意すること。

3. 相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）

【併用注意】（併用に注意すること）

- ・薬品によっては膨潤したり、浸透・着色・脱色・表示落ちたりする場合がありますので確認の上使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

- ・直射日光、高温多湿、水ぬれを避けて冷暗所に保管すること。

2. 有効期間

- ・包装の使用期限欄を参照のこと。【自己認証（自社データ）による】

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社 イズモヘルス
TEL：0263-62-2392
製造業者：株式会社 イズモヘルス